

熱中症が発生しています

今年も各現場で熱中症が発生しており、7月25日時点で5件報告されています。

事前の対策で熱中症の予防を

梅雨明け後は急に気温が上昇し熱中症が多発します。十分な注意と予防の対策が必要です

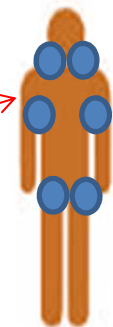
このような症状があるときは熱中症を疑いましょう

- ・ 高い体温
- ・ 顔が赤い、身体が熱い、皮膚が乾いている
(全く汗をかいていない、身体を触ると熱い)
- ・ ズキズキとする頭痛
- ・ めまい、吐き気、嘔吐、筋肉痛、倦怠感
- ・ 意識障害
(呼びかけても応答が変である、呼びかけに反応しない、痙攣しているなど)



熱中症になってしまったら

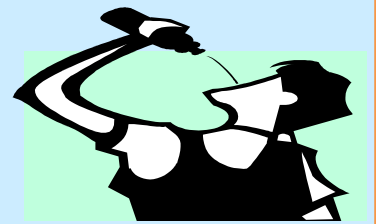
- ・ 木陰や室内の涼しい箇所に移動させ、衣服を緩め安静にし、全身を冷す
- ・ 冷水をかけながら、扇風機やうちわで風を当てる(気化熱の利用)
- ・ 保冷剤やペットボトルで冷す
- ※ 冷すポイントは大きな血管があるところ(脇、頸部、袒頸部など)
- ・ 水分を数回にわけ頻回に摂取させる(スポーツドリンクや経口補水液など)
- ・ 迷わず医療機関に搬送 意識がない、反応が鈍い場合はもちろんのこと、軽度だからといって休憩だけだと、後に症状が悪化し、取り返しのつかないこととなりますので、ためらわず救急車を呼び、医療機関に搬送してください。



青の●の箇所を冷す

熱中症を予防するには？

- ・ のどが渇く前に水分補給を(乾かなくても水分補給を)
- ・ 透湿性、通気性、速乾性のある衣服を
- ・ 作業者間での声かけを
- ・ 一息しょうの声かけを
- ・ 体調管理を(食事・睡眠)
- ・ 休憩所の整備と熱への順化を(暑さや熱になれ適応させること)
- ・ WBGT値(暑さ指数)の活用を



熱中症情報に関するホームページ

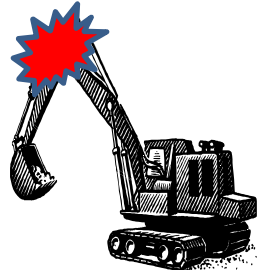
- 熱中症環境保健マニュアル、熱中症予防リーフレット、予防カード、暑さ指数(WBGT)予報ほか
- ◇ 環境省 熱中症情報 http://www.env.go.jp/chemi/heat_stroke/
- 熱中症予防情報サイト <http://www.nies.go.jp/health/HeatStroke/index.html>
- 天気予報、気象情報、異常天候早期警戒情報ほか
- ◇ 気象庁 熱中症に注意 <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kurashi/netsu.html>
- 異常天候早期警戒情報 <http://www.jma.go.jp/jp/soukei/>
- 健康のために水を飲む推進運動
- ◇ 厚生労働省 健康のために水を飲む推進運動 <http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/suido/nomou/>
- 職場における熱中症予防対策
- ◇ 厚生労働省 職場における労働衛生対策 <http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei02.html>
- 全国における熱中症傷病者救急搬送に関する情報
- ◇ 消防庁 熱中症情報 http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html



架空線のある現場でのバックホウ作業に注意！

現場内を横断する架空線を、バックホウのアームで引っかける事故が後を絶ちません。架空線を切断する事故のほとんどがバックホウによるもので、アームを上げた状態で現場内を移動していて、架空線に気付かず(失念していて)切断する。というパターンが非常に多く見られます。主な対策としては下記が考えられますが、安全訓練やKYで、全作業員にしっかり認識してもらうことが大切です。

- 地上に「上空注意！」といった注意喚起の看板を設置する。
- 三角旗などで、架空線を目立つようにする。
- 見張り員を配置する。



昨年度の架空線切断事故で特に影響の大きかった事例

●現場内の電線をバックホウで引っかけ電柱3本が倒壊

【事故概要】

道路工事中に既設の側溝の撤去のためバックホウを移動中に上空架空線とバックホウのアームが接触し、架空線が引っ張られた

【被害状況】

電柱2本半が半壊、1本が全壊し家屋への引込船が切断された3軒の住居が約9時間近く停電し、147軒に約15分の一時停電が発生。また電柱の倒壊により、市道2本が約17時間にわたり通行止めになった

【対策】

- ・ 架空線下で重機等の障害物が近づくとサイレンや回転灯で警告するシステムの導入
- ・ 架空線下で作業がなくても監視員を常駐させる



●ダンプが、走行中に荷台を上げてしまい、国道を横断する架空線を切断

【事故概要】

10トンダンプが交通誘導員の指示に従い、国道9号線に進入し走行を始めたところ、運転手があやまってダンプレバーの誤操作によりダンプの荷台が国道9号線を架空横断する高さ5.5mの線に接触した

【被害状況】

架空線の切断、電柱と引込柱3本の損傷。電話の不通23回線、ケーブルテレビによるインターネット回線の不通3,160世帯が約4時間29分の不通

【対策】

- ・ 誤操作防止のための安全教育
- ・ 安全確認のための標識看板類の場内配置



4月～6月の事故発生状況(速報値)

4～6月の事故件数は34件で、過去最高の昨年度と比較すると低い件数ですが、一昨年と比較すると全体的に多くなっています。特に**工事関係者事故は昨年末から多発する傾向にあるため**、各現場において特に注意願います。

事故分類別工事事故件数(4～6月の累計数で比較)

	26年度	25年度	24年度
工事関係者事故	8	6	6
管理施設事故	12	14	8
第三者事故	14	22	12

